

高等学校 令和7年度（3 学年用） 教科				保健体育 科目 自選 スポーツⅡ			
教 科： 保健体育		科 目： 自選 スポーツⅡ		単位数： 2 単位			
対象学年組：第 3 学年		1 組～ 6 組 男子12名 女子3名					
教科担当者：		( 1～6組：吉田 )					
使用教科書：		( 大修館 新高等保健体育 )					
教科		保健体育		の目標：			
【知 識 及 び 技 能】				各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。			
【思考力、判断力、表現力等】				運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。			
【学びに向かう力、人間性等】				生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。			
科目 自選 スポーツⅡ		の目標：					
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】			
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。		生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。		運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。			
	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容		評価規準		知 思 態 配 当 時
1 学期	バドミントン 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることができる。		・指導事項 正しいフォームの習得 基礎的な打ち方（クリア、スマッシュ、ヘアピン、ドロップ、ロブ、サービス）の習得 シングルス、ダブルスゲームのルール理解 ・教材 一人1 台端末の活用 等 端末を用いて自他のショットを客観的に評価し、改善点を指摘し合う。		【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとしている。作戦などについての話し合いに貢献しようとしたり、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。		○ ○ ○ 14
	バレーボール 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることができる。		・指導事項 レシーブ、トス、スパイク、サービスの習得 6 人制ゲームのルール理解 ・教材 一人1 台端末の活用 等 端末を活用してチームの動きを客観的に評価し、改善点を互いに指摘し合う		【思考力・判断力・表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができている。		○ ○ ○ 12
2 学期	アルティメット 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることができる。		・指導事項 スロー、キャッチ技能の習得 アルティメットのルール理解 ゲームの運営 ・教材 一人1 台端末の活用 等 端末を活用してチームの動きを客観的に評価し、改善点を互いに指摘し合う。		【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとしている。作戦などについての話し合いに貢献しようとしたり、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようことができている。		○ ○ ○ 10
	バドミントン 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることができる。		・指導事項 正しいフォームの習得 基礎的な打ち方（クリア、スマッシュ、ヘアピン、ドロップ、ロブ、サービス）の習得 シングルス、ダブルスゲームのルール理解 ・教材 一人1 台端末の活用 等 端末を用いて自他のショットを客観的に評価し、改善点を指摘し合う。		【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとしている。作戦などについての話し合いに貢献しようとしたり、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。		○ ○ ○ 6
3 学期							合計 42